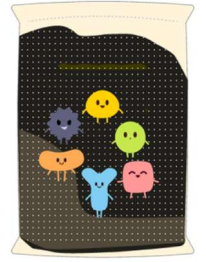


＼すてるのって もったいない！／

生ごみや葉っぱは 土の中のえいよう になります

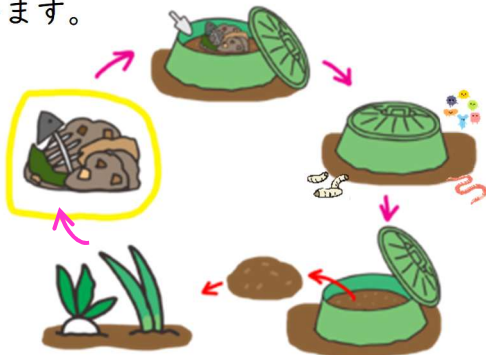


知ってほしい① 自然のぐるぐる

落ち葉、動物のしがい、生ごみなどが、びせいぶつや虫などに「ぶんかい」されると、少しずつ土の中のえいようになります。

そのえいようで、次の新しい植物が育ちます。そしてその植物も、命がおわると、またぶんかいされて、土の中のえいようになります。

地球では昔から、このぐるぐるがつづいています。



知ってほしい② 生ごみをすてない国も多い

日本では生ごみを「もえるごみ」として、せいそう工場でもやすことが多いです。でも、生ごみをもやさずに、土やエネルギーにリサイクルしている国もたくさんあります。生ごみはコンポストでリサイクルしなければいけないと決まりになっている(=ぎむ)国もあります。

知ってほしい③ コンポスト

生ごみや葉っぱなどを、家庭で土のえいようにするときにべんりなのが「コンポスト」です。(「コンポスター」とよぶ人もいます)

いろいろなやり方がありますが、どれも、目に見えないびせいぶつたちに、元気に生ごみをぶんかいしてもらいます。びせいぶつは、もともと土の中や、いろいろな場所にたくさんいます。

コンポストは、**生ごみさくげん**にもなります。しぜんの力だけで、家庭でごみをへらせます。

みなさんもぜひ、コンポストを使ってみてください。



しつもん・相談先：いきちかクラブ
ikichikagakudo@gmail.com